

つながり通信

広報誌 号外 令和4年 2月

発行：社会福祉法人 友遊会
(旭川地域包括支援センター友遊)
編集：生活支援コーディネーター 豊田澄湖

未来に向けて今考えるとき！

自分の住んでいる地域は
「いくつになっても住み続け易い所」
になっていますか？？？

困りごと①

今年は雪が多くて
雪かきが大変！
車の運転も怖かった！



でも今年だけですむのかな？



どうも地球温暖化が関係しているようです

温室効果ガス（二酸化炭素など）が、太陽から届いた地面の熱を溜め込み
地球全体の平均気温を高くしています。

例) 温室効果ガス

いちごや野菜などを育てるビニールハウスのように、地球を温めています。
その結果、大気中の水蒸気の量が多くなり、「豪雨」や「台風での雨量」を上乗せし、
気温が0度以下のときには、大気中に水蒸気量が多いほど「大雪」になってしまいます。

国・政治家には勿論頑張っていただかないと……でも現実問題、時間がかかります。
自分達の住む地域のことは、一人で悩むのではなく、皆で解決策を考えませんか。
「誰かやってくれる」では何も改善しません。同じ状況が続くだけです。

地域の人で話し合う「場」はありますか？ 自分はそこに「参加」していますか？
誰かに「助けて」と言えていますか？ 「大丈夫」と声掛けするしぐみはできていますか？
地域の人同士の繋がりはとても大切です。

暮らしの困りごとをサポートをして下さる方

シルバー人材センター

＜知っていますか＞

65歳以上で会員登録する人がいて成り立っているサービスです。

登録者が不足しています

SOS

＜住み慣れた地域で自分らしくより良く暮らすには＞

- ①今、自分に何ができるか一人ひとりが考える
- ②人に親切にすることは、以外に勇気がいります。人の目も気になります。

だからこそ、行動できるあなたは真の勇者

- ③一人できることは微力だけれど、人と人が繋がれば線になり、その数が増えると大きな面(輪)になります。
- ④その姿勢を見た若者たちが、後に続きやすいような開拓を！

勇者の方々、共に地域を支えましょう。

＜相談支援・情報提供・助言等など＞

旭川地域包括支援センター友遊

東部つながり協議会

月
会
日